

～志を高く 三刀屋中！～

三刀屋中学校だより

令和3年1月

TEL 45-2421



3 学期～有終の美～



© dsk

新年、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。

2021年、1月8日(金)に始業式を行う予定でしたが、大雪のため1月12日(火)に3学期がスタートしました。3学期の「三」という数字に注目してみると、「御三家」、「三種の神器」、「三三七拍子」、「日本三大〇〇」、「仏の顔も三度まで」、「石の上にも三年」等、日本には「三」が付く言葉が多く見られます。

学校でも3学期制、中学校、高等学校は3年間、小学校も3の倍数で6年間。諸説ありますが中国の陰陽五行思想が日本に伝わって、その影響で「三」が好まれるようになったようです。

その他の理由では、「三」という数字は「調和」を表すもので、二や四などの偶数は割り切れてしまうことから対立を生む。三つは「満つ」、「充つ」に通じ、縁起がよい等があるようです。

学校生活を3つに分け、3段階でその成長を図っていくというのは、とても有効で意味のあることではないかと思います。3つの段階は、「基礎」→「発展」→「まとめ・応用」と言えばよいかもしれません。そして、3学期はひとつの学年を終え、次のステージに羽ばたいていくまとめと準備の段階です。そこで、3学期の始業式(私自身は出張のために不在)に2つのことを教頭先生に頼んで伝えてもらいました。

《1つ目 学年のまとめとしての3学期》

1年生は、もう一度自分自身を振り返り学校生活や家庭生活を見直す。2年生は、生徒会や部活動で学校を動かす中心となるので、自分のことだけではなく学校全体を考えて行動する。3年生は、新たなステージに向けてしっかりと準備して受験に望むこと。

《2つ目 目標に向けて努力する事》

2学期の終業式に「人は節目で伸びる」という話をしました。人は節目にあたって何か目標を立てる。「よし、これを頑張るぞという決意をする。」そして、その目標が自分にとって大事な目標ならば、そのために必死に頑張る。頑張って達成することで自信がつく。そして、さらなる高みを目指す。だから、その人は自然と伸びていく。

本校のキャッチフレーズは、この学校だよりの題名になっている『志を高く 三刀屋中』です。自分の立てた目標に向かってしっかりと努力してほしい。

新型コロナウイルス感染拡大が止まりませんが、3年生は大事な高校入試が控えています。今一度、手指消毒やマスクの着用、不要不急の外出を控えるなど学校でも指導しますが、ご家庭、地域においてもご協力や声かけ等をよろしくお願いいたします。



© dsk

みとやっこ元気ウィーク

第3回の「みとやっこ元気ウィーク」を1月14日(木)～20日(水)までの1週間実施しました。この調査は、自分の生活を振り返り、規則正しい生活リズムの定着を目指すものです。

これまでの2回の結果では、『早寝 早起き 朝ごはん』の生活習慣に関しては大部分の生徒が規則正しい生活リズムで過していました。しかし、メディアの使用時間は、1回目より2回目の方が多かった結果となりました。新型コロナウイルス感染拡大により家庭で過ごす機会が増え、この傾向はますます強くなると予想されます。これを機にもう一度、生活習慣を見直してみしてほしいと思います。結果は、「みとやっこ元気ウィークだより」でお知らせします。



雲南市連合生徒会

昨年の12月25日(金)に雲南市役所において、雲南市連合生徒会の合同研修会が行われました。この研修の目的は、雲南市内の中学校7校の生徒会の代表が集い生徒会活動充実のために各校の取組や活動内容等の情報交換を行うことにより、一人一人が生徒会の執行部としての資質を高めるためのものです。本校からは、生徒会長の白築颯馬さん、副会長の佐藤公紀さん、山根夢架さん、会計の堀江文之祐さんの4名が参加しました。初めての顔合わせとあって、最初は、どの学校の生徒も緊張して固かったのが各校の教育支援コーディネーターさんの指導で、アイスブレイクとして

『雲南の宝探し』、『ぎょうざジャンケン』等のゲームを行いました。そのお陰で、お互いの緊張がほぐれ活発なグループ討論や各校の取組についての意見交換ができました。



【アイスブレイクの説明】



【ぎょうざジャンケン】



【雲南の宝探し】



【本校の取組の発表】

第1回生徒総会

1月15日(金)に、新生徒会による第1回生徒総会を行いました。例年ならば、全校生徒がサンホープに集まり各委員会の活動目標、活動案等を発表し、各学級の代表からの質問に答えるという形式となるのですが、今回はコロナウィルス感染拡大防止の観点から放送での開催としました。

2年生にとっては、初めての生徒総会ということもあり不安だったと思いますが、自分たちの活動目標、活動計画を一生懸命に伝えていました。今後の活動は3年生の指導・助言を受けながら自分たちのカラーを出した新生徒会をつくってほしいと思います。



【発表前の緊張の様子】



【各委員会別による報告】



【真剣に聞く3年生】

うなんん元気っ子

わくわく教室



1月16日(土)に三刀屋文化体育館アスパルにおいて、『わくわく吹奏楽体験！』が行われました。

これは、キラキラ雲南が幼・小・中学生向けに実施する雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室の事業の一つです。昨年の10月の職場体験学習で、アスパルの体験活動を行っていた本校3年中村美涼さんが企画を提案し、実現したものです。普段は指導される側の生徒ですが、この日は指導する側となって小学生に楽器の持ち方や音の出し方等を丁寧に指導しました。中学生にとっては、説明を理解してもらうことの難しさや楽器を演奏する楽しさを伝えるための工夫を通して教えることの苦労を感じたのではないのでしょうか。特に、普通に使っている専門用語や知識を小学生は持っていないので、より噛み砕いた丁寧な説明が必要です。普段当たり前に行っていることを細分化して説明することで、本校の生徒にとってはより深い理解につながりよい経験になったと思います。



【ドラムの指導】



【ユーフォニアムの指導】



【全体演奏前の確認】

受験シーズン始まる



1月16日(土)～17日(日)にかけて大学入学共通テストが実施されました。今年から始まった共通テストと昨年まで行われていた大学入試センター試験との大きな違いは、教科書で覚えた知識だけでなく、これまで習得した知識を基に資料や図・グラフを解析して解答したり、特徴を考察するなど思考力を求める問題。また、身近な話題を題材にしたり会話文を盛り込むなど新しい傾向が見られたようです。

来年度から中学校で、新学習指導要領による教育課程が始まります。これまでの学習指導要領との大きな違いは、学んだことを日常生活に生かすため、資料を読む(読解力)、調べる(学校図書館活用教育)、話し合い(ペア・グループ学習)、課題を解決するなどの『主体的・対話的で深い学び』を全て教科に採り入れること。理解していること、できることをどのように使うかという『思考力・判断力・表現力』を身に付けることがより求められています。

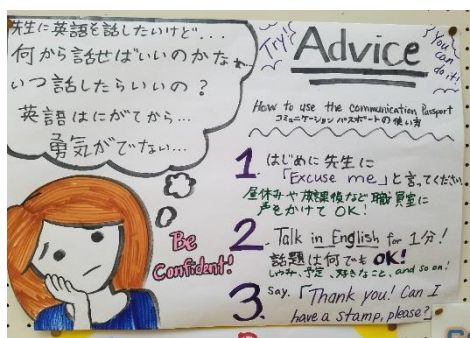
大学入試の話をしてしまいましたが、中学校でも高校入試が始まっています。

《高校入試の予定》

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1月14日(木)出雲西高等学校 推薦入試 | 15日(金)出雲北陵高等学校 推薦入試 |
| 16日(土)松江工業高等専門学校 推薦入試 | 19日(火)公立高等学校 推薦入試 |
| 20日(水)公立高等学校 推薦入試 | 28日(木)出雲北陵高等学校 一般入試 |
| 2月3日(水)特別支援養護学校 高等部入試 | 4日(木)出雲西高等学校 一般入試 |
| 21日(日)松江工業高等専門学校 一般入試 | |
| 3月4日(木)公立高等学校 学力検査 | 5日(金)公立高等学校 学力検査(面接) |
- 3年生全員が志望校に合格することを願っています。

校内英語スピーチコンテスト

1月19日(火)に校内英語スピーチコンテストを行いました。このコンテストは、英語を話す機会を少しでも増やそうと本校ALTのケイコ先生が中心となって企画したものです。ケイコ先生は、授業以外でも英語に親しんでほしいと、本校ホームページに英語によるウェブサイトの作成、教職員との英会話を促すスタンプラリーの企画、英会話をするためのアドバイス表を作成するなど様々な工夫をされています。今回のコンテストには8名のエントリーがあり、リモートで各学級に動画を配信して全校生徒に評価してもらいました。また、1月25日(月)のALTの会議においても動画を見てもらい審査してもらう予定です。



【アドバイス表】



【スピーチの様子】



【真剣に聴く生徒】